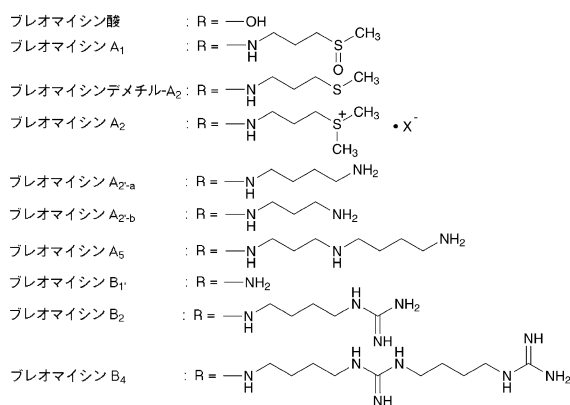
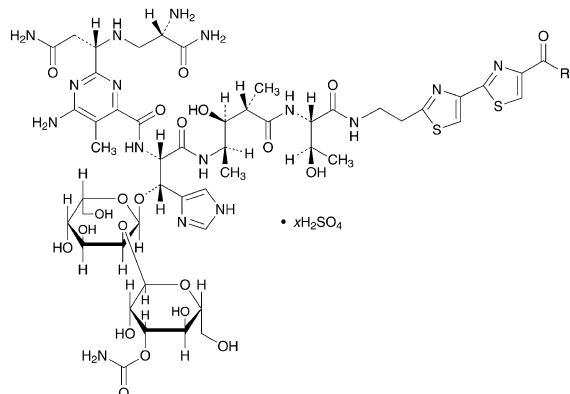


硫酸ブレオマイシン

Bleomycin Sulfate

ブレオマイシン硫酸塩



ブレオマイシン酸

1-Bleomycinoic acid sulfate

ブレオマイシン A₁*N*¹-[3-(Methylsulfinyl)propyl]bleomycinamide sulfateブレオマイシンデメチル-A₂*N*¹-[3-(Methylsulfanyl)propyl]bleomycinamide sulfateブレオマイシン A₂*N*¹-[3-(Dimethylsulfonium)propyl]bleomycinamide sulfateブレオマイシン A_{2-a}*N*¹-(4-Aminobutyl)bleomycinamide sulfateブレオマイシン A_{2-b}*N*¹-(3-Aminopropyl)bleomycinamide sulfateブレオマイシン A₅*N*¹-{3-[(4-Aminobutyl)amino]propyl}bleomycinamide sulfateブレオマイシン B₁

Bleomycinamide sulfate

ブレオマイシン B₂*N*¹-(4-Guanidinobutyl)bleomycinamide sulfateブレオマイシン B₄*N*¹-{4-[3-(4-Guanidinobutyl)guanidino]butyl}-bleomycinamide sulfate

[9041-93-4, 硫酸ブレオマイシン]

本品は日本抗生物質医薬品基準の硫酸ブレオマイシンの条に適合する。

性状 本品は白色～黄白色の粉末である。

本品は水に溶けやすく、エタノール (95) に極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

硫酸プロタミン

Protamine Sulfate

プロタミン硫酸塩

本品はサケ科 (*Salmonidae*) などの魚類の成熟した精巢から得たプロタミンの硫酸塩である。

性状 本品は白色～淡灰黄色の粉末である。

本品は水にやや溶けにくく、エタノール (95) 又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品 1.0 g を水 100 mL に溶かした液の pH は 4.0 ～ 7.0 である。

確認試験

(1) 本品 1 mg を水 2 mL に溶かし、1-ナフトール 0.1 g を薄めたエタノール (7 → 10) 100 mL に溶かした液 5 滴及び、次亜塩素酸ナトリウム試液 5 滴を加えた後、水酸化ナトリウム試液を加えてアルカリ性とするとき、液は鮮赤色を呈する。

(2) 本品 5 mg に水 1 mL を加え、加温して溶かし、水酸化ナトリウム溶液 (1 → 10) 1 滴及び硫酸銅 (II) 試液 2 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。

(3) 本品の水溶液 (1 → 20) は硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験

(1) 溶状 本品 0.10 g を水 10 mL に溶かすとき、液は無色澄明である。

(2) 窒素 本品を 105 °C で恒量になるまで乾燥し、その約 0.01 g を精密に量り、窒素定量法により試験を行うとき、本品 1 mg につき、窒素 (N : 14.007) の量は 0.255 mg 以下である。

抗ヘパリン試験

(i) 試料溶液 本品 20.0 mg を生理食塩液に溶かし正確に 20 mL とする。

(ii) ヘパリンナトリウム標準溶液 ヘパリンナトリウム標準品 10.0 mg を生理食塩液に溶かし、その 1 mL 中に正確に 0.7 mg を含むように調製する。

(iii) 硫酸塩・全血液 新鮮なウシの血液 250 mL を硫酸ナトリウム十水和物溶液 (9 → 50) 50 mL を入れた広口の共栓ポリエチレン瓶に入れ、1 ～ 4 °C で保存する。用時凝固物があるときは除いて用いる。

(iv) トロンボキナーゼ抽出液 アセトン乾燥牛脳 1.5 g に水 60 mL を加え、50 °C で 10 ～ 15 分間抽出し、1500 回転で 2 分間遠心分離した後、上層液をとり、これに保存剤としてクレゾールを 0.3 % の割合に加え、1 ～ 4 °C で保存する。この液は数日間効力を保つ。

(v) 操作法 清浄な内径 13 mm、長さ 150 mm の共栓試験管 10 本をとり、その 1 本に生理食塩液 1.30 mL